

高専生の皆さまへ

J-POWER RECRUITING GUIDE

J-POWERの事業と仕事



J-POWERについて

ABOUT J-POWER

人々の求めるエネルギーを不断に提供し、 日本と世界の持続可能な発展に貢献する

J-POWERは、戦後の日本の電力不足を克服するために1952年に政府により設立されました。以降、全国各地に発電所や基幹送電線の建設・運営を行い、日本の電力安定供給に貢献してきました。近年では、成長が見込まれる海外での発電事業や、風力発電、地熱発電といった再生

可能エネルギーの開発等、事業フィールドを拡大しています。「人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献する」という企業理念の下、日本と世界で培った技術と実績を活かし、持続可能な社会の発展に貢献していきます。



佐久間発電所(静岡県)



松島火力発電所(長崎県)



上ノ国ウインドファーム(北海道)

数字で知るJ-POWER

水力・風力で国内NO. 2

水力発電と風力発電の国内シェア第2位。再生可能エネルギーのリーディングカンパニー、それがJ-POWERである。

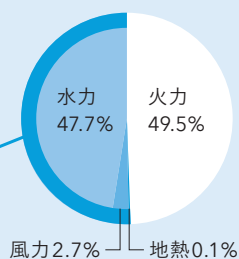


日本全体のCO₂の3.7%を減らす

2050年にカーボンニュートラルの実現を目指し、J-POWER“BLUE MISSION 2050”を推進。その取り組みによる削減分(2013年度基準)は、日本全体CO₂排出量の3.7%を占める。

国内発電設備に占める再生可能エネルギーの割合

50.5%



国内93

水力・風力・火力・地熱発電や送変電設備を保有し、日本全体の電力安定供給に貢献。

箇所[※]の発電設備

長い歴史で培った開発力を駆使し、建設から、運転・保守まで一貫したバリューチェーンを構築。

70年以上の歴史

1960年代から海外事業を展開し、世界の電力の安定供給にも貢献している。

全発電設備出力に占める海外比率

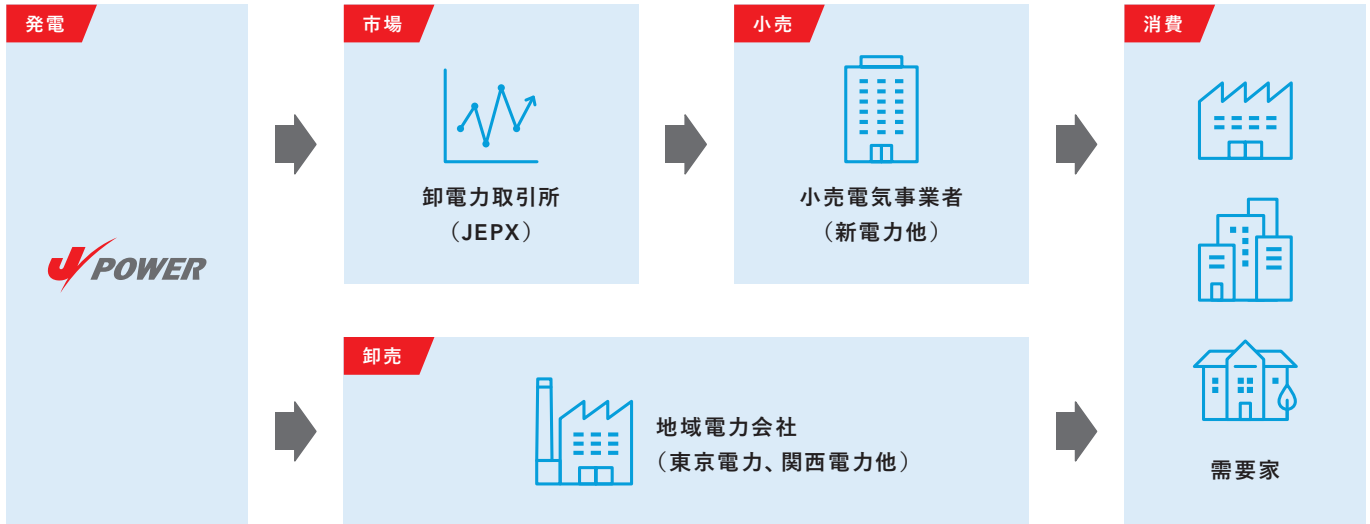
31%[※]



BUSINESS

J-POWERが発電した電気は、各地域の電力会社や卸電力取引所、
新電力を通して皆さんに届けられています

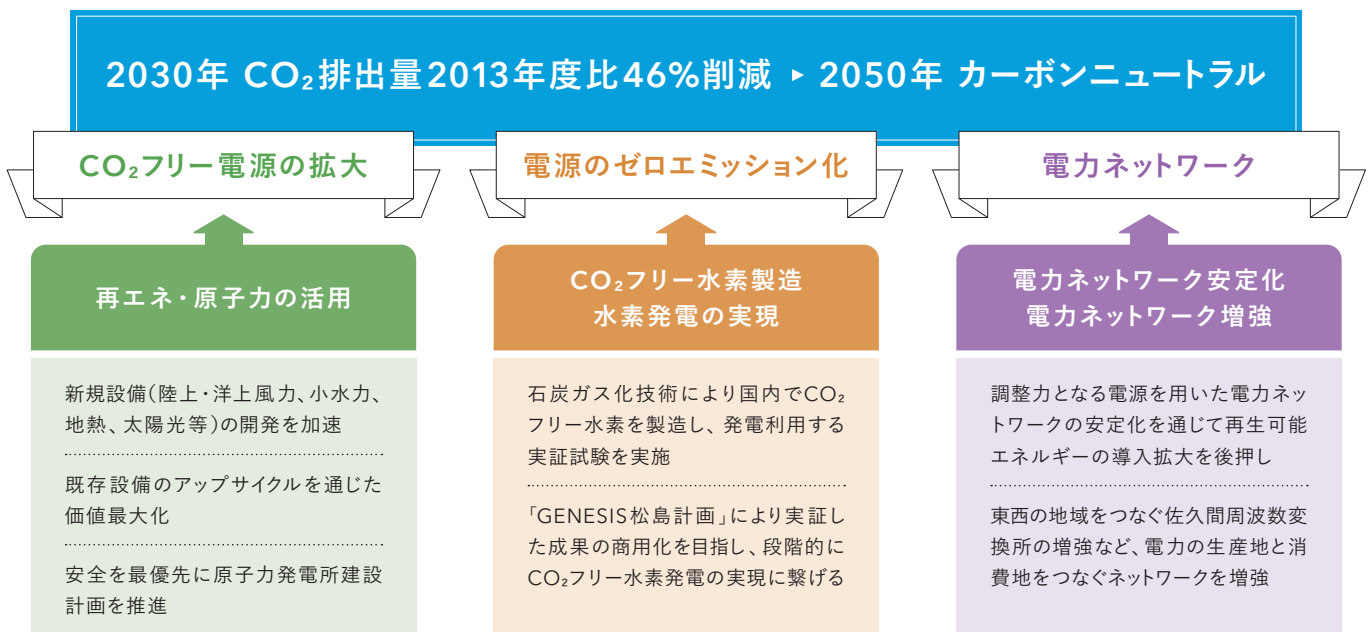
【J-POWERが作った電気の流れ】



FUTURE

カーボンニュートラルと水素社会の実現に向けた J-POWER “BLUE MISSION 2050”を推進

J-POWERは気候変動問題の解決に向け、技術の力でエネルギーの安定供給とCO₂排出量の削減を同時に実現し、
2050年のカーボンニュートラルを目指しています。そのマイルストーンとして2030年のCO₂排出量を
2013年度比で46%削減を目標に設定。その達成に向け、以下の3つの方針を掲げ、取り組みを進めています。



技術系の職種について

ABOUT TECHNICAL POSITIONS

あなたの個性と専門性が輝く場所がある

J-POWERには広範な事業分野とキャリアの可能性があります。
バラエティに富んだ職種・部署であなたの活躍を待っています。

電気・通信職



水力発電・変電部門の仕事

水力発電所や変電所、交直変換所の電気設備のメンテナンス、運転(交替勤務含む)や設備の新設・リニューアル工事の計画、設計、施工監理などに携わります。さらに水理モデルや電力系統の解析、電力需給シミュレーションなども手掛け、発電機等の電力設備の次世代保守技術の研究開発(DX化推進等)も行います。

>> 社員紹介:P6 古澤 史洋



火力発電部門の仕事

火力発電設備の建設、運転(交替勤務含む)、メンテナンスや火力発電事業の運営管理、火力発電事業に係る戦略立案(バイオマス・アンモニア混焼やカーボンニュートラル化、水素エネルギー利用を含む)、個別投資案件の検討・計画立案を手掛けています。また国内外の新規火力発電所を建設する際には設備の仕様検討も行います。

>> 社員紹介:P6 三村 琢斗



原子力発電部門の仕事

大間原子力発電所の電気機器・計装機器の仕様検討、設計・評価、施工計画の策定や原子力規制委員会による適合性審査への対応を行います。大間原子力建設所での据付工事、据付済み機器の維持管理や運転開始後の発電所の運転(交替勤務含む)、電気設備等のメンテナンス・点検なども担います。



送電部門の仕事

送電設備(鉄塔送電線等)のメンテナンスや新設、増・改良工事(建替含む)の計画策定、鉄塔の基礎設計や仕様決定、測量調査、工事費算定、施工監理を手掛けています。さらに送電設備の設計・技術検討、設備・工事施工に関する研究開発や電源多様化(再エネ発電設備の増加)に伴う電力網増強・安定化に向けた検討業務も行います。

>> 社員紹介:P7 石澤 健太



情報通信部門の仕事

DX推進戦略の策定およびデータ活用基盤の整備を担当。ドローン、AI、IoTなどのデジタル技術を活用したDXや情報システム、IPネットワークなどICTに関する設計・構築・保守・運用を行います。さらにサイバーセキュリティ対策や発電・変電所等の新設・運営に必要な通信設備の計画・設計・保守・運用も担います。

>> 社員紹介:P7 岩崎 友里亜

職種と配属部門の関連図

	水力発電・変電	火力発電	原子力発電	送電	情報通信	土木・建築	海外事業	風力・地熱・バイオマス発電	技術開発	コーポレート
電気・通信職	●	●	●	●	●		○	○	○	○
機械職	●	●	●				○	○	○	○
土木職／建築職	○	○	○			●	○	○	○	○
機械(鋼構造)職				●		●	○	○	○	○

●印は入社後に決定される各人のベースとなる部門で、○印はキャリア形成の中でベースとなる部門以外に異動となる可能性がある部門です。

機械職



水力発電・変電部門の仕事

水力発電所の機械設備のメンテナンスが主な役割です。長期方針策定、保守技術調査・検討、最新技術を駆使した設備の高度化検討、水力発電所の新設・リニューアル工事の計画・設計・施工監理を行っています。また画像認識AI等を活用した点検技術の高度化による水車・発電機等の機械設備の次世代保守技術の研究開発も行っています。



火力発電部門の仕事

火力発電設備の建設、運転(交替勤務含む)、メンテナンスを手掛けています。火力発電事業の運営管理や火力発電事業に係る戦略立案、個別投資案件の検討・計画立案を行います。国内外において新規火力発電所を建設する際の設備(主に機械分野)の仕様検討(仕様、レイアウト、効率向上、環境対策、コストダウン等)を担当します。

>> 社員紹介:P8 岡田 英明



原子力発電部門の仕事

大間原子力発電所の原子炉周辺設備やタービン設備等の仕様検討、設計・評価、施工計画の策定を担当します。また原子力規制委員会による適合性審査への対応、大間原子力建設所での据付工事、据付済み機器の維持管理、運転開始後は発電所の運転(交替勤務含む)や機械設備等のメンテナンス・点検を実施します。

土木職



発電・変電設備(ダム含む)の新設や設備更新(リブレース)時の土木設備の計画策定、設計、対外対応、工事計画、工事費算出、施工監理等を担当します。また既設土木設備の維持管理・長期戦略の立案・耐震性強化等や海外発電事業における土木設備の設計・施工監理、コンサルティング業務も手掛けます。

>> 社員紹介:P8 渡邊 健太郎

建築職



発電・変電設備の新設や設備更新(リブレース)時の建築物・構築物の計画策定、設計、対外対応、工事計画、工事費算出、施工監理等を担当します。また既設建築物・構築物の維持管理、長期戦略の立案・耐震性強化等や海外発電事業における建築物・構築物の設計、施工監理、コンサルティング業務も手掛けます。

>> 社員紹介:P9 丸山 裕紀

機械(鋼構造)職



水力発電所の水門、水圧鉄管等の土木鋼構造設備計画、発注、施工監理、メンテナンスの支援を担当。また鉄塔、橋梁添架設備等の送電線の鋼構造設備に関する設計、施工監理、メンテナンスや火力・原子力・海外発電事業における土木鋼構造設備の設計、施工監理、メンテナンス、コンサルティング業務も手掛けます。

>> 社員紹介:P9 川俣 和広

電気・通信職 [水力発電・変電]



古澤 史洋 ふるさわ ふみひろ

水力発電部付 株式会社J-POWER
 ハイテック 出向(当時)
 電気工学科卒 | 1998年入社

巨大な水力発電機を 支える誇りを胸に

私 はグループ会社の株式会社J-POWERハイテックに出向し、下郷発電所の水力発電設備のメンテナンス業務に従事しています。日々の巡視点検・設備の補修だけでなく、更新・オーバーホール等の大規模工事や、年間・月間の作業計画の管理等があります。そのなかで私は、主に大型工事の設計・計画や中長期の作業計画・予算管理を担当しています。さらに後輩社員が作成する資料のチェックや、相談やアドバイス、技術指導も行っています。

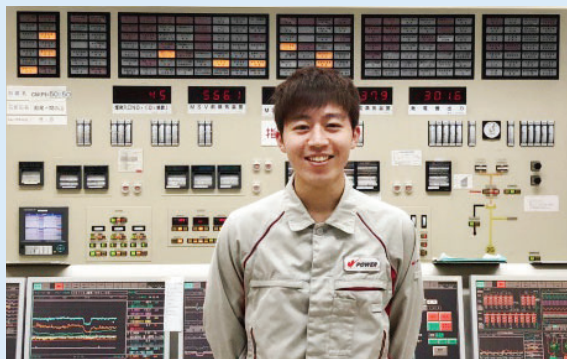
これまで私は発電機の制御装置の更新を数多く手掛けてきました。制御装置は発電機の頭脳に相当する部分であるため、更新作業は決して容易ではありません。だからこそ自らが主担当として更新した制御装置によって巨大な発電機が稼働し、電力を作り出している状態を目の当たりにしたときは、感動もひとしおでした。

水力発電は火力や原子力の発電量に及ばないものの出力調整が容易で、安定供給に資する重要な再生可能エネルギーです。私はこの事業に従事できていることを誇りに思っており、その思いを胸に、日々後輩の指導に努めています。

J-POWERを選んだ理由

電力を通じて日本のインフラを支えるという使命感に惹かれました。また以前、授業の一環としてJ-POWERの社員が会社説明に来校し、事業等の説明を聞いたとき、将来性のある事業内容に興味を覚え、当社を選びました。

電気・通信職 [火力発電]



三村 琢斗 みむら たくと

火力エネルギー部付 J-POWERジェネレーション
 サービス株式会社 出向(当時)
 電気電子システム工学科卒 | 2016年入社

現場を理解すると、 仕事はもっと面白くなる

竹 原火力運営事業所の当直員として、運転操作やトラブル対応を通じてプラントの安定運転を行っています。発電所内の中央制御室から機器を操作する際は、指差呼称や確認をしっかりと行い、誤操作を避けるよう注意して業務にあたっています。制御室内での仕事だけでなく、火力発電所内の各現場でのバルブの開閉操作や場内のパトロールなど、体を動かすことが多いため、想像以上に体力が求められます。特に夏場は熱中症のリスクが高まるため、こまめな水分補給を心掛けています。

業務を通じて、発電機器の状況が頭に入ると、中央制御室から操作をするときに「どの発電機器がどのように動いているか」がイメージできるようになり、仕事がより面白く感じられるようになります。またトラブル発生時には、それまでの経験や知識を活かすことで、早期に問題を解決できた瞬間は誇らしい気持ちになります。

昨今では電子機器やITの普及によって、電気がより一層生活に欠かせないものとなり、電力の安定的供給の使命感は、仕事のやりがいになっています。

J-POWERを選んだ理由

エネルギー自給率が低い日本において、安価かつ多様な調達先がある石炭の利用は、エネルギーセキュリティの面で重要です。J-POWERは高効率な発電所を有し、電力の安定供給を担っているため、社会貢献につながる仕事ができると考えました。

電気・通信職 [送電]



石澤 健太 いしざわ けんた

経営企画部付 電源開発送変電ネットワーク
株式会社 出向(当時)
電気工学科卒 | 2009年入社

あらゆる経験や勉強が 自分を成長させている

送 電設備の建設プロジェクトの推進や設計業務を総括する部署で働いています。送電設備は、潮風を受ける海の近くや標高が高い山岳部など、さまざまな地域に立地しています。これらの環境を考慮し、機械強度や電気・絶縁設計の観点から設備仕様を設計・提案することが私の仕事です。それぞれの地域環境、設備の信頼度、建設・維持コスト、法令への対応などを踏まえ、社内外の関係者と協議・調整しながら設備仕様を検討・決定しています。このように、実は非常に奥深い送電の仕事には、日々の勉強が欠かせません。

私は、入社してから4年の間、送電設備のメンテナンス部門に在籍して、竣工してからおよそ50年を経過した設備の維持管理業務を経験しました。設計の考え方や工事工法を社内外の関係者に説明するには、メンテナンス部門で得た知見を活用するとともに、日々の勉強や各方面からのアドバイスを通じて、自己研鑽していく必要があります。この仕事は、あらゆる経験や勉強して得られた知識を通じて、自らの成長を実感することができます。

J-POWERを選んだ理由

当初からインフラ業界に興味を持っており、なかでもJ-POWERを選んだ理由はその幅広い事業領域です。日本全国、さらに海外にも拠点があるため、さまざまな国や地域の関係者との仕事を通じて、幅広い知識を身につけられると考えました。

電気・通信職 [情報通信]



岩崎 友里亜 いわさき ゆりあ

水力発電部 中部支店 情報通信グループ(当時)
電子システム工学科卒 | 2018年入社

電気事業に必要な通信設備を、 守り、支えるという醍醐味

電 気事業の運営に欠かせないのが通信回線です。各地の地域制御所から水力発電所までの運転制御信号、発電所の発電量やダム水位情報などを伝送することで、電力会社は安定した発電や送電を実現しています。この通信回線の構築・メンテナンスが私の役割となります。

現在、私は中部エリアの通信回線の設計やメンテナンスに伴う通信回線の停止調整などを担当しています。万が一、通信が途切れると、電力供給に支障が出る可能性があります。そこで必要になるのが、災害に強く、信頼度の高い通信回線であり、それを提供し続けることが私の使命です。

これらのような発電に直接関与する通信設備以外にも、社内のIPネットワークや電話などの設備もあり、それぞれが電力の安定供給のためには必要不可欠なものです。これらのような重要な設備のメンテナンスに携わることに、大きなやりがいを感じています。さらに、業務のなかでIoTやドローンといった最新技術に触れる機会もあり、既存の技術だけでなく、新しい技術を学ぶことができる場所にも面白さを感じます。

J-POWERを選んだ理由

社会を支える縁の下の力持ちのような存在になりたいと考え、電力会社を志望。そのなかでJ-POWERは水力発電所や風力発電所を数多く保有し、火力発電所も最新技術でCO₂等の排出を抑制するなど環境に配慮しているところが魅力でした。

機械職 [火力発電]



岡田 英明 おかだ ひであき

火力エネルギー部 火力技術室(当時)
制御情報工学科卒 | 1995年入社

自分の考えが具体的な形となって、 プロジェクトに反映されていく

目 本国内における発電所や変電所などの新規プロジェクトの計画立案や、海外プロジェクトにおける技術的事項の検討などを行っています。近年においては、社内の関係者のみならず、他社との協業プロジェクトが増えており、プロジェクトの初期段階で必要となる基礎的な技術要件を関係者間ですり合わせるなど、社外関係者との折衝や調整の役割も担っています。案件の内容や状況に応じて関係者と連携しながら、柔軟にプロジェクトの動きに対応しています。

この仕事の大きな醍醐味が、国内外のさまざまなプロジェクトの計画業務に携わることができることです。とりわけ自分自身が携わったプロジェクトが、具体的な形になっていく過程にとってもやりがいを感じます。時々刻々と変化する世界情勢、各国の政策動向や法令や商標の変化、技術の動向など、さまざまな知識を踏まえてプロジェクトを検討する必要があるため、一筋縄にはいきませんが、自らの考えがプロジェクトに反映されることが、現在の仕事の大きな魅力です。

J-POWERを選んだ理由

全国で発電所を建設、運営している点に魅力を感じ、自分も発電所の建設に携わったり、運転をしてみたいと思いました。学生時代に学んできた制御情報工学の知識が生かせる仕事という点もJ-POWERを選んだ理由の一つです。

土木職



渡邊 健太郎 わたなべ けんたろう

国際営業部 プロジェクト推進部(当時)
環境都市工学科卒 | 2012年入社

完成までの苦勞の分だけ 大きな感動が味わえる

イ ンドネシアの火力発電所建設プロジェクトに従事しており、現地スタッフと一体となって、建設工事に関する技術検討、設計や品質管理、さらに工程監理などを行っています。土木構造物のトラブルで発電所の運転に支障が出ないよう、地震、暴風、土砂災害などの自然災害に対して十分な耐性が確保されているか、要求される品質が確保されているか、そして工事が計画通りに進行しているかを常に念頭に、日々直面するさまざまな問題にチームで対応しています。

建設の最中に感じるやりがいは、実際に構造物が建っていく過程を直接目の当たりにできることです。私は入社してすぐ、火力発電所の防潮堤工事の監理を担当しました。工事の竣工後、一人で現場を歩いた際、その過程や苦勞が蘇ってきて、言葉では表せないほどの感慨深いものがありました。数十年後、再び自分が関わった発電所を訪れたとき、その当時の努力や工夫がどれほどの価値を持つものになったのか、そんなことに思いを馳せることができるのもこの仕事の魅力の一つだと思います。

J-POWERを選んだ理由

戦後の電力不足を克服するために誕生した元・国策会社であり、設立の経緯が他の電力会社と大きく異なる点に魅力を感じました。また日本全国のさまざまな土地を知りたいと思っていたので、全国に設備がある点も決め手となりました。

建築職



丸山 裕紀 まるやま ゆうき

水力発電部 西日本支店 土木グループ(当時)
建築学科卒 | 2014年入社

メンテナンスから新規案件まで 幅広く手掛けることができる

私 は西日本エリアで、ダムなどの水力発電設備の建築物のメンテナンスを行っています。具体的な業務内容は、中長期的なメンテナンス計画の立案、予算の作成、各種業務契約の手続き、そして工事監理など一貫した幅広い業務を担当しています。

また、メンテナンスのみならず、発電設備や送変電設備に関連する建築物の新規建設のプロジェクトも担当することがあります。その際、建築物の設計や各行政機関との協議も行います。設計業務では、社内の各部門からの要求を汲み取り、それを設計図面に反映させます。

私が担当する建築物は、発電に関わる重要な設備であり、それに伴う大きな責任があります。電力の安定供給を支える役割を担い、社会に貢献できるというやりがいを日々感じています。特に、入社当初に配属された竹原火力新1号機建設所での経験は印象的で、建築物の計画と工事監理に関わり、計画通りに建築物が完成する過程を見ることで、発電所のリプレースという一大プロジェクトに貢献できたという達成感を得ることができました。

J-POWERを選んだ理由

電気事業という重要な事業を、日本全国・世界で展開しており、フィールドが幅広いと感じました。さらに入社前に磯子火力発電所に行く機会があり、世界トップレベルの環境性能や壮大なスケール感に魅力を感じました。

機械(鋼構造)職



川俣 和広 かわまた かずひろ

土木建築部 企画業務室(当時)
機械工学科卒 | 1995年入社

さまざまな文化や人物に触れ、 広く社会を知ることができる

国 内における建設プロジェクトの設計・発注、および施工監理の業務に従事しています。ダム・水力発電所の設備のなかで、私が主に担当しているのが「水力土木鋼構造物」です。これはダムの水門や発電所まで水を導く鉄管など、水力発電における土木設備に付随する「鉄」の設備の総称で、この設備に関する防災・減災検討や耐震照査および補強検討のほか、劣化診断、点検診断、更新・補修・補強計画の検討などのメンテナンス業務も行っていきます。また、これらの業務に加え、技術の継承を目的とした社員教育も担当しています。

この仕事の真骨頂は、発電所や関連設備について、計画、設計、施工からメンテナンス・運用まで、一連の「ものづくり」を手掛けることができる点にあります。また、ダムや発電所といった、社会的に重要な電力インフラの運用・管理という、やりがいのある業務も大きな魅力です。国内外の拠点でさまざまな文化や人々と交流し、広く社会を知る機会を得られることもJ-POWERでの仕事の魅力の一つと感じています。

J-POWERを選んだ理由

学習した知識や、習得した技術などを十分活用できる職業・職種であること。さらにスケールの大きな事業で自分の能力を生かしてみたいと思ったので、日本全国に数多くの大規模な水力発電設備を有するJ-POWERを希望しました。

働く人を支える仕組み

CAREER SUPPORT SYSTEM

人財育成

階層別／部門別研修

各キャリアステージで求められるスキルの習得のために階層別・部門別できめ細やかな研修を実施しています。

目的別／自己研鑽型研修

財務・会計や英語、ロジカルシンキング等の社員のニーズに応じた研修や、通信教育等への支援を行っています。

資格取得支援

電気主任技術者、ポイラー技士など業務に必要な資格取得の費用を負担。資格に応じた祝金支給制度もあります。

若手社員育成支援

若年社員の育成とコミュニケーションの活性化を図るため、職場内にトレーナーを配置し、直属の上長や先輩社員による職場ぐるみで育成を行っています。

福利厚生制度

全国に社宅・寮を完備

本店および各拠点には寮・社宅を完備。寮には冷蔵庫・洗濯機・掃除機・エアコン等が備わっており、年齢制限なく居住することができます。

クラブ活動

各種クラブ行事が盛んで、テニス、サッカー、野球、ラグビー、バドミントン、水泳、自転車など多数のクラブがあり、社員同士の交流に貢献しています。

カフェテリアプラン

ポイントに応じて旅行費用や自己啓発費用、健康美容費用等に交換することができます。

多様な働き方を推進

手厚い育休制度

育児休業は満2歳到達日を含む翌年度4月末まで、時短勤務は小学校3年生の年度末まで一日最大2時間短縮することができます。

年次有給休暇の 時間単位行使制度

年次有給休暇の時間単位行使制度があり、1時間単位で休暇が取得できるなど、柔軟な休暇の取得が可能です。

スイングタイム制度

始業・終業時刻の前後2時間の繰り上げ・繰り下げが可能です。

※一部事業場対象外

TOPICS

年次平均有給休暇取得率

81.5%
(2022年度)

全産業の平均取得率である63.2%*(従業員数1,000名以上)を大きく上回っています。

※厚生労働省 2022年就労条件総合調査

月平均残業時間

21.4 時間
(2022年度)

「ノー残業デー」の設定など各機関での定時退社キャンペーンを行い、時間外労働時間の削減に努めています。

従業員一人当たりの 年間教育研修費

23.2 万円
(2021年度)

全業界の中で12位、電力・ガス業界の中では、第1位という結果でした。

※東洋経済オンライン(2023.06.29)

「社員教育にお金をかける企業」ランキング100より



「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として認定を受けています。



これまでの取り組みが評価され、次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業として「くるみん」認定を受けた企業のうち、より高い水準で取り組んだ企業に与えられる特別認定(愛称「プラチナくるみん」)を取得しました。



新入社員研修



寮の一例



クラブ活動



MESSAGE



J-POWERは高専生の 皆さんの力を求めています

J-POWERでは多数の高専出身社員が活躍しています！多くの先輩が自身の専門性やスキルを活かして、さまざまなフィールドでエネルギーの安定供給のために使命を持って働いています。日本全国あるいは世界各地で社会に必要不可欠な電気をつくり、生活や産業の基盤を支える仕事に、共にチャレンジいただける方を、心よりお待ちしております！

RECRUITING DATA

応募資格 2022年3月～2025年3月に高専(本科)を卒業(見込み)の方
※電気、電子、情報、通信、機械、土木、建築等を専攻している方

職種 技術系グローバル社員
※契約期間の定めのない、総合職社員

勤務地 全国及び海外の各事業所

勤務時間 9:00～17:30(休憩時間50分)
※本店の他、事業所により線外・線下可

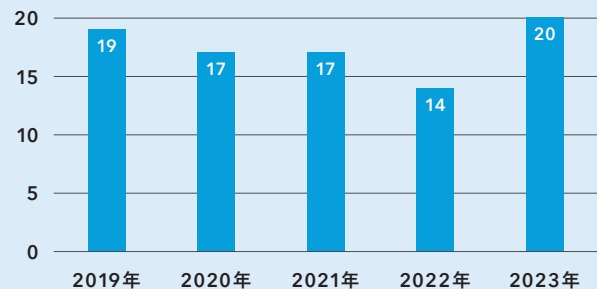
基本給 初任給：219,700円 [2023年4月実績]
※総合手当15,000円・昼食手当3,000円を含む
※試用期間なし、給与改訂年1回・賞与年2回

諸手当 通勤手当、超過勤務手当等

休日休暇 休日：(通常勤務)完全週休2日制、祝日、年末・年始等
休暇：有給休暇年20日、特別休暇(夏期、結婚等)

高専(本科)卒の入社実績

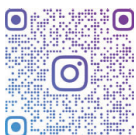
高専(本科)卒の採用数は毎年10～20名程度で推移しています。



INFORMATION

採用 Instagram

業務内容やプライベートの過ごし方まで国内外で働く社員の生の声をお届けしています。また、イベントの周知もしています。



新卒採用ホームページ

プロジェクトストーリーや職種・部門別の社員紹介、社員インタビュー動画、勤務地紹介といったコンテンツを掲載しています。



2025年卒向けマイページ

説明会・座談会等のイベントから選考情報までご案内しています。当社にご興味がある方は是非ご登録ください。



電源開発株式会社 (J-POWER)

設立：1952年9月16日

資本金：1,805億200万円(2023年3月末現在)

本店所在地：〒104-8165 東京都中央区銀座6-15-1

売上高：1兆8,419億2,200万円(連結/2023年3月期)

代表者：代表取締役社長 菅野 等

従業員数：1,816名(単体/2023年3月末現在)

電話：03-3546-2211(代表)

E-MAIL：kyujin@jpower.co.jp



J-POWERは、「気候変動に起因するリスクや機会を分析し、情報開示する」という趣旨に賛同するTCFD賛同企業です。

